



未来の先生展
2017

多様性を受け入れる学校づくり

～マイノリティ当事者の声から、できることを考える～

パネルディスカッション講演形式

開催日時 2017年 8月 27日(日) 14:20-15:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス1号館2F 207教室

司 会 一般社団法人コアプラス 武田緑

内容

子どもたちは、見た目には同じ年恰好でも、それぞれに異なる背景や事情をかかえて学校に通ってきます。

この企画では、子どもの頃、学校で「学びづらさ」や「居心地の悪さ」を感じてきた3人の当事者が、等身大で当時の思いや今の考えを語ります。それを通して、みなさんで、多様性を受け入れる学校を、どうしたらつくることができるか、考えていきましょう。

*この会のキーワード → □こどもの貧困 □引きこもり □不登校 □1人親家庭 □セクシュアルマイノリティ(LGBT) □発達障害 □外国ルーツ



ここに注目！

「合理的配慮」が学校で義務付けられ、インクルーシブな教育環境をつくっていくことがますます重要になってきています。インクルーシブというと、障害を持つ子どもたちのこと、という認識になってしまいがちですが、「どんな子ども」学びやすい学校づくりこそが本当のインクルーシブ教育の理念です。この企画では、その考え方をもとに、多様なバックグラウンドを持つ人たちの声から、学校のアタリマエを疑ってみる試みをしたいと考えています。

また、この企画は、『フィッシュボール』というスタイルを採用し、参加型の場づくりを行います。幾重かのサークル状に並べられた椅子の中心に、登壇者が座り、テーマについて対話をします。それを話題提供とし、中盤からは参加者のみなさんにも、登壇者と共に対話に加わっていただくことができます。

登壇者



恩田夏絵

ピースポートグローバルスクール
コーディネーター・
一般社団法人ひきこもりUX
会議代表理事

1986年、神奈川県川崎市生まれ。小学2年生から不登校をはじめ。ひきこもり、リストカットなどを経て定時制高校を卒業するも、“生きること”への希望を見いだせず、人生最期の旅のつもりで地球一周の船旅へ。様々な人と出会うことで“生きること”の多様性を実感。死ぬのをやめてNGOピースポートに就職。2010年、洋上フリースクール『ピースポート・グローバルスクール』を開校。
これまでに卒業生は130名を越える。2013年より『ひきこもりUX会議』として活動。

<http://global-school.jp/> <http://blog.livedoor.jp/uxkaigi/>



室井舞花

教科書にLGBTを！キャン
ペーン共同代表・
NextCommonsLabディレク
ター・
Love is Colorful主宰

1987年生まれ。花屋を営む父と、祖母、姉の家庭で育つ。18歳で同性愛当事者であることを初めて人に打ち明け、2013年には東京都庁で同性パートナーと結婚式を行う。2014年より、教育現場で多様な性について教えられることを目的にした「教科書にLGBTを！キャンペーン」を展開中。多様な背景を持つ人たちが違いを超えて生きられる社会を目指し、当事者の立場から発信を続ける。現在は岩手県と東京を往来する日々。著書『恋の相手は女の子』（岩波ジュニア新書）。

<http://lic-since2014.tumblr.com/> <http://nextcommonsclub.jp/>



《Coordinator》

武田緑

一般社団法人コアプラス
代表理事

1985年、大阪市東淀川区のマイノリティが多く暮らす地域で生まれ育つ。被差別部落出身当事者でもある。19歳の時にピースポートで地球一周を経験し、そこで教育の重要さと、日本の教育の課題に気づき、大学生の時にコアプラスを設立。多様な人たちがそれぞれ自分を生きられる社会を目指し、教育関係者に向けた、学び・つながり・エンパワメントの場づくりを行なっている。

<http://coreplus.info/>